

千葉市地域福祉計画 事業別取組状況について（平成23年度）

《基本テーマ3: 支え合いの仕組みづくり》 ⑤ネットワークの充実

No.	主な取り組み		所管課	事業概要	平成23年度実績見込み（取組状況）	平成24年度の予定・目標
46	ア) ボランティアネットワークの機能強化	ボランティアズカフェ	市民自治推進課	様々なボランティア情報を一元的・総合的に市民に提供し、ボランティア活動へのきっかけづくりの場とします。	・ボランティア情報の提供 利用者数 2,136人 ・ボランティアに関する相談 147件 ・会議室の提供 161件 (上記は平成23年12月末日までの実績から推計) ・イベント、講座等の開催 ボランティア募集团体による活動希望者に向けての説明会(「カフェ・ド・ボランテ」)や、身近なボランティア活動に役立つ講座(「ボラカフェ講座」)などを開催	市民活動センターが主な対象としていた団体とボランティアズカフェが対象としていた個人のマッチングを促進するなど、市民公益活動の更なる促進を図るため、市民活動センターと統合する。
47		ボランティア保険制度	地域振興課	地域で活躍しているボランティアや団体が安心して活動するための、ボランティア保険制度を周知します。	・保険料 3, 465, 000円 ※H24.1月末現在事故実績 ・事故件数 22件 ・補償件数 14件 ・補償額 283, 000円	引き続き、本制度を継続する。 ・保険料(見積額) 8, 542, 000円
48	イ) 安否確認ネットワークの充実	安心電話・緊急通報装置の設置、SOSネットワークの整備、認知症への支援	高齢福祉課	ひとり暮らしの高齢者に対する、電話による安否確認や緊急通報装置を配置します。徘徊により高齢者が行方不明になった場合の警察と市による連絡網を整備・拡充します。	1 電話による安否確認の実施 利用者数 579人(1月末現在) 2 緊急通報装置の設置 利用者数 1, 797人(1月末現在) 3 徘徊により高齢者が行方不明になった場合に早期に発見するため、警察と市でFAX等による連携を図った。	1 電話による安否確認の実施 利用者数 600人 2 緊急通報装置の設置 利用者数 1, 835人 3 徘徊により高齢者が行方不明になった場合に早期に発見するため、警察と市での連携を図る。
49	ウ) 子育てネットワークづくり支援	次世代育成支援対策の推進体制の検討	こども企画課	民間企業、保育、教育関係者などと連携し取り組みの普及・促進を図ります。	社会全体で子育て家庭を支える意識の醸成等を目的とした「赤ちゃんの駅」事業において、民間企業等に事業への賛同を働きかけ、民間企業9、民間保育園32の協力を得た。	「赤ちゃんの駅」事業への協力企業等の拡大を図るとともに、より広範で多様な取組について検討を行う。
50		子育てフォーラムへの支援	こども企画課	地域における子育て支援の地域ネットワーク構築などを視野に入れ、地域で活動しているさまざまな団体・個人が実施している子育てフォーラムを支援します。	地域で活動している子育てフォーラムに対し、施設の貸出等により支援を行った。 ※活動状況 稲毛区1回、若葉区0回、緑区0回、美浜区8回	地域で活動している子育てフォーラムに対し、施設の貸出等により支援を行う。
51		「千葉市職員の子育て支援計画」に位置付けられている、子ども・子育てに関する地域貢献活動への市職員の参加の促進	給与課 全庁的取組	子ども・子育てに関する活動等の事業所管課は、庁内ネットワークを活用して市職員に情報を提供し、地域貢献活動への参加を促進します。	子ども・子育てに関する活動等の事業所管課は、庁内ネットワーク(CHAINS)を活用して市職員へも情報を提供した。	引き続き庁内ネットワーク(CHAINS)を活用して市職員に情報を提供していく。
52		地域保健推進員活動	各区保健福祉センター健康課 健康支援課	地域保健推進員が、それぞれ担当地区を持ち、地域の身近な相談役として、地域と各区保健福祉センター健康課のパイプ役となります。	地域保健推進員の研修会を2回実施。(延べ 343人参加)	引き続き、研修を実施する。
53		ファミリー・サポート・センターの充実	保育支援課	「子育て中で困ったときに手を貸して欲しい方」と「子どもが好き」「子育て中のお母さんを助けてあげたい」などの思いをもっている方に会員登録をしてもらい、センターのアドバイザーが仲介となつて、地域に住む会員同士で子育て支援をする相互援助活動組織の充実に努めます。	子育て支援館内にファミリー・サポート・センターを設置し、地域に住む会員同士で子育て支援をする相互援助活動の仲介及び組織の充実に努めた。	子育て支援館内にファミリー・サポート・センターを設置し、地域に住む会員同士で子育て支援をする相互援助活動の仲介及び組織の充実に努める。 また、ひとり親への助成事業を開始し、より一層の相互援助活動の充実に図る。

千葉市地域福祉計画 事業別取組状況について（平成23年度）

《基本テーマ3: 支え合いの仕組みづくり》 ⑤ネットワークの充実

No.	主な取り組み		所管課	事業概要	平成23年度実績見込み（取組状況）	平成24年度の予定・目標
54	エ) 虐待への対応ネットワークの充実	高齢者虐待への対応	高齢福祉課	「あんしんケアセンター（地域包括支援センター）を窓口とした関係機関との連携強化を図り、高齢者虐待の防止、虐待の早期発見、早期対応、保護、支援に至るまでの取り組みを行います。	1 困難事例に関する個別ケース会議について千葉県高齢者虐待対応市町村支援事業を活用し、弁護士等の専門家の支援を得て問題の解決に取り組む。 ・専門家の支援を要請した個別ケース会議 2件 2 あんしんケアセンター及び高齢障害支援課の高齢者虐待担当者を対象とした高齢者虐待対応困難事例検討会を開催する。 ・平成23年度 未実施	1 困難事例に関する個別ケース会議について千葉県高齢者虐待対応市町村支援事業を活用し、弁護士等の専門家の支援を得て問題の解決に取り組む。 2 あんしんケアセンター及び高齢障害支援課の高齢者虐待担当者を対象とした高齢者虐待対応困難事例検討会を開催する。 3 あんしんケアセンター増設に伴い、新規担当職員等を対象とした研修会を開催する。
55		児童虐待・DVへの対応	健全育成課 児童相談所	民生委員・児童委員、小・中学校や特別支援学校の教諭を対象に、研修会を実施します。また、児童虐待対応マニュアルを、小中学校をはじめとした関係機関に配布します。児童虐待及びDVの発生予防と早期発見・早期対応の一層の推進を図るため、要保護児童対策及びDV防止地域協議会を開催し、関係機関との連携を図ります。	主任児童委員を対象に研修会を実施した。 また、児童虐待及びDVの発生予防と早期発見・早期対応の一層の推進を図るため、要保護児童対策及びDV防止地域協議会を開催し、関係機関との連携を図った。 国通知の改訂、本市要保護児童対策及びDV防止地域協議会の設置、各区虐待対応事務の開始等に伴う諸情勢の変化に合わせ、マニュアルの改訂を予定。 また、年1回、保育所・幼稚園等、児童との関わりのある関係機関の職員に対し、児童虐待に関する専門的知識を習得するための研修を行うほか、主任児童委員、民生委員や小中学校の教諭等を対象として、適宜研修を実施し、児童虐待への適切な対応と防止を図る。	引き続き、主任児童委員を対象に、研修会を実施します。児童虐待及びDVの発生予防と早期発見・早期対応の一層の推進を図るため、要保護児童対策及びDV防止地域協議会を開催し、関係機関との連携を図ります。 引き続き、国動向等、諸情勢の変化を注視し、適宜、マニュアルの改訂を検討。 また、研修についても、テーマ・実施方法等の改善を重ね、引き続き実施していく。
56	オ) 団体等の活動推進・連携支援	地域見守り活動支援事業（新規）	高齢福祉課	ひとり暮らし等の高齢者が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、地域見守り活動支援を新たに実施する団体に対し、環境の整備に必要な活動拠点の初度設備費用の一部を助成します。	1 団体設立の推進 ・地域見守り活動を新たに実施する団体の設立を促すために環境整備に必要な活動拠点の初度設備費用を助成した。（申請団体数 4団体（平成24年2月16日現在））	1 団体設立の推進 ・地域見守り活動を新たに実施する団体の設立を促すために環境整備に必要な活動拠点の初度設備費用を助成する。（申請見込み数 10団体）
57		社協地区部会活動の活性化へ向けた支援	地域福祉課	社協地区部会が行うふれあい・いきいきサロンをはじめとする地域ぐるみ福祉ネットワーク事業等、地域福祉活動が活性化するよう、積極的な情報の収集・提供・調査研究を支援するとともに、福祉活動を支える人材の育成、活動拠点の確保を進めます。	※H23.12月末現在 市社協に対し補助金を交付。 補助金額 3,552,000円 【事業実績】 ・地区部会数 65地区（未設置地区なし） いきいきサロン 1,090回 子育てサロン 281回 散歩クラブ 267回 ・福祉活動推進員 518人 研修会 3回	引き続き市社協に対し支援を行う。 補助金額 2,917,000円
58		市民活動センターによるNPOなどの団体間の連携強化	市民自治推進課	市民公益活動を行っている団体に対する情報発信や団体相互の情報交流の推進に努め、団体間のネットワーク構築を支援します。	・市民公益活動団体情報の提供 施設利用者数 18,608人 ・市民公益活動に関する相談 75件 ・会議室の提供 975件 ・印刷機、紙折機の貸出 1,149件 （上記は平成23年12月末日までの実績から推計） ・センターニュース、メールマガジンの発行 ・イベント、講座等の開催 市民活動フェアをはじめ、団体間のネットワーク構築を分野別、地域別に支援するイベントや、市民公益活動に関する講座を開催	・市民公益活動団体情報の提供 ・市民公益活動に関する相談 ・ボランティア情報の提供 ・ボランティアに関する相談 ・会議室の提供 ・印刷機、紙折機の貸出 ・センターニュース、メールマガジンの発行 ・イベント、講座等の開催 市民活動フェアをはじめ、団体間のネットワーク構築を分野別、地域別に支援するイベントや、市民公益活動に関する講座を開催。また、ボランティアに関するイベントも開催予定

千葉市地域福祉計画 事業別取組状況について（平成23年度）

《基本テーマ3: 支え合いの仕組みづくり》 ⑤ネットワークの充実

No.	主な取り組み		所管課	事業概要	平成23年度実績見込み（取組状況）	平成24年度の予定・目標
59	オ) 団体等の活動推進・連携支援	大学等と連携した地域活動の推進	政策企画課	大学と行政が連携し、大学の有する知的財産・人的資源及び専門知識と行政の有する地域情報やノウハウを相互活用し、地域活動を推進します。	「千葉市・大学等共同研究事業」 【23年度テーマ】 ・放送大学「こどもに信頼される大人とこどもの居場所のあり方」	「千葉市・大学等共同研究事業」 【24年度テーマ】 ・千葉大学「地域住民の緑地保全・緑化活動への主体的な参加を促進するための方策に関する研究」 ・淑徳大学「福祉作業所・授産施設等の生産物購入者の意思決定過程に関する調査」 他1件(予定)
60		コミュニティビジネスの支援	経済企画課	コミュニティビジネスの促進のための環境づくり、支援事業を行います。	コミュニティビジネスの普及推進 【事業実績】 ・コミュニティビジネス起業化講座 年1回 5日間 受講者27名 ・コミュニティビジネスシンポジウム 年1回 一般参加者79名 ・コミュニティビジネス情報コーナー 通年 千葉市ビジネス支援センター内	コミュニティビジネスシンポジウムの開催 コミュニティビジネス情報コーナーの活用促進
61	カ) サービス利用や法律行為の支援充実	日常生活自立支援事業への支援、成年後見制度の利用促進	地域福祉課	判断能力が不十分な方が、住み慣れた地域で安心して自立した生活を送れるように、千葉市成年後見支援センターを拠点とし、成年後見制度の普及・啓発を図るとともに、社会福祉協議会が実施している福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理を行う「日常生活自立支援事業」の利用促進を図るための支援を行います。	※H23.12月末現在 (日常生活自立支援事業) 市社協に対し補助金を交付。 補助金額 22,458,000円 【事業実績】 ・相談件数 2,289件 初回相談件数 62件、相談件数 2,227件 ・契約締結人数 77件 ・実契約者利用内容 財産管理サービス、福祉サービス利用援助、 財産保全サービス	引き続き市社協に対し支援を行う。 補助金額 23,590,000円
			高齢福祉課		1 成年後見制度講習会の開催(5回:394人参加) 2 出前講座(20回開催) 3 ポスター、チラシの作成、配布(27,500部)	1 引き続き、成年後見制度講習会の開催 2 引き続き、出前講座の開催 3 チラシの作成、配布(25,000部)・市政だよりや社協だよりの活用
62	キ) ホームレスの自立支援ネットワーク	ホームレス対策	保護課	巡回相談員による生活実態等の把握を行う。ホームレス問題連絡会議において、自立支援の施策に関する情報交換や連絡調整を行うなど必要な対応を図ります。	・巡回相談員2人による定期的な訪問・面接を行い、生活実態等を把握し、必要な支援を実施。 ・H23.10に平成23年度第1回ホームレス問題連絡会議を開催し、関係課による施策の推進状況や情報交換を実施。 H24.3に第2回会議を開催予定。	・引き続き巡回相談員2人による定期的な訪問・面接を行う。 ・引き続き年2回程度、ホームレス問題連絡会議を開催し、関係課による施策の推進状況や情報交換を行う。